

災害時料理の基本



講師:小野沢旬子さん

- ・エプロンはなくても、三角巾やタオルで頭だけは覆いましょう
- 手袋、マスクをつけましょう

(普段と違い、すべりやすかったり、匂いに気づきにくくなります。用心は普段の倍以上に、慌てないで)

- 普段から、手袋をつけて料理の感覚を身につけておきたいですね
- 簡単レシピのため、ついアレンジしたくなります。
- ・袋の中の量を変えたり、混ぜ物をすると熱の伝わり方 が均等でなくなり、**失敗しやすく**なるため注意が必要
- ・アレンジは平時に試して、災害時には失敗しないように

- ・材料を目分量ではかる (衛生的+洗い物を減らす)
- ・本講座では、材料の参考として、〇〇g、大さじ〇等の表記をしていますが、目分量で作ってみましょう
- ・普段から、ペットボトルのふたは10cc、湯呑みは180cc などの感覚を身につけておくといいですね
- ・いつもの家庭料理の丁寧な作り方とは違います
- ・皆と一緒のときは自分の作り方を押し通そうとしないで
- アレルギーの有無を確認し、声をかけましょう
- ・塩分は控えめ、薄味に「味は薄くしてありますよ」と声をかけましょう食べる時にお好みに合わせて塩コショウで味つけを
- 嫌いな食べ物を無理に押し付けないで

初めて作ると思いがけない失敗があるかも 災害時に食料は無駄にできません ぜひ一度家で作ってみてください